

# Opening Message

## “未来を変えるのは「今」”



株式会社ミライト・テクノロジーズ  
代表取締役社長 高島 宏一



### 1. 経営方針について

昨年6月、株式会社ミライト・テクノロジーズ代表取締役社長に就任し、就任挨拶としてグループ全従業員に対し、3つの経営方針を示しました。これらは全てがTからはじまります。テクノロジー (Technology) のTと、トランスペアレント (Transparent) のT、チーム (Team) 力のTです。この「3 T」を念頭に、分かりやすい経営を目指していきたいと考えています。

まず1つ目は社名です。当社社名にも含まれている「テクノロジー (Technology)」という言葉、ここは私自身もこだわっていきたく思います。これは当社の事業がまさに“技術”に基づいているということです。「テクノロジー」、これを1人ひとりが磨かなければ、劇的に変化していく事業ドメインに対応していくことが厳しくなります。これまで培った伝統的な技術をしっかりと引き継ぎ、新たに必要となる技術を習得するために日々研鑽を重ね、1人ひとりがプロフェッショナルを目指す。このプロフェッショナルとは、自分のやった仕事に対してお客様に喜んでいただける、そういう仕事ができる人がまさしくプロフェッショナルです。社名に負けないように日々、テクノロジーを磨いていきたいと思えます。

2つ目は、経営の基本ルールについてです。その中

身は非常に単純にしたいと思っています。まずオープン (Open)、“開かれた経営”です。クローズではなく、皆が今の会社の状況をよく知っているというオープンな経営をしていきたいのです。さらに、オープンな経営が何に基づくかという“事実”です。ファクト (Fact)。データ・数字は嘘をつきません。数字を皆で共有し、確認し合いながらやっていきたいと思えます。オープンとファクト、これを足し合わせると何になるかと言うと透明な経営、つまりトランスペアレント (Transparent) です。皆が透明性のある事実を基にコミュニケーションができる、透明性のある経営を目指していきたいと思えます。

最後に3つ目、当社には非常に良い文化・社風があります。それは何かと言いますと、「チーム (Team) 力」です。社員1人ひとりの年齢や経歴などにもよりますが、例えば両親や子どもが病気や怪我をするなど、色々困ったことが人生の長い間には起こります。あるいは、長い社会人生活の中でも段々と重要なポストになると毎日思い悩むことがあるかもしれません。そういうとき、自分だけで悩むのではなく、仲間、上司などと一緒に乗り越えていく、さらに、周りで色々苦労している人達を自分の事のように思い助け合っていく、“チーム・ミライト・テクノロジーズ”で乗り越えていこうという文化をさらに育てていきたいと思えます。

## 2. 自立し、成長し続ける企業へ

ミライトグループが掲げる『総合エンジニアリング & サービス会社』を実現するためには、これまで培ってきた主力のエンジニアリングをベースに、「サービス」の部分をもさらに強化する必要があると考えています。当社では事業ドメインを、既存の主力事業で利益を着実に確保していく「ベースドメイン」と、今後の事業拡大を目指すべき「フロンティアドメイン」の大きく2つに分けました。

ベースドメインはこれまで主力事業であった固定・モバイルのインフラ構築を指し、フロンティアドメインは将来の柱となる事業として、さらに「ソフト」、「Wi-Fi」、「ビル・エネルギー」、「オペレーション」、「海外」の5つに分類し、その事業動向に応じ、ベースドメインの人材をスキルアップ・マルチスキル化し、柔軟かつ大胆にフロンティアドメインに投入したいと思います。

また、これら事業ドメインを支えるためにも、グループ全社的にKAIZENの風土・意識を浸透させていくことを基本とし、「人材育成」、「グループ経営」、「事業部制管理会計」、「ワークライフバランス (WLB)」、「アライアンス」を事業の基礎杭として、しっかり事業を支えることができるように強化してきたいと思います。

基礎杭の部分では、大阪の適塾を見習って「未来塾」と称し、若手・中堅社員からもメンバーを選抜し、その名の通り、メンバー自らの人材育成も含めて、それぞれの課題や具体的な取組みについて議論し、メンバー自身で考えた取組みをできる事からひとつずつ実践しています。

また、社員の皆が、日々、仕事だけではなく、家庭や資格取得、趣味など、さまざまな事にチャレンジし、充実した社会人生活を送れるようワークライフバラ

ンス (WLB) への取組みにも力を入れていきたいと思っています。

このように、新入社員から辞めるその日まで、皆が日々学び、個々のスキルアップを目指しつつ、マネジメントスキルを伸ばしていく、つまり“学び続ける企業・社員”の企業風土をさらに醸成していきたいと考えています。

## 3. 最後に

繰り返しになりますが、私は、チームメイトである社員、協力会社の皆さんの職場が、ただ毎日働くだけの場所ではなく、自ら学び、お互いに磨き合って成長できる場所になれば、ますます成長・発展できると信じています。55年前の設立以来、お客様・取引先の皆様や諸先輩方に大切に育ててもらったこの会社を、また今日から一日一日を大切に、日々学び、お客様・取引先の皆様と共に、社員と共に、協力会社の方と共に、輝かしい未来を創る会社にしていきたいと思えます。まさに“未来を変えるのは「今」”です。

今後も、皆様のご期待に沿えるよう、グループ社員一丸となって努力していく所存ですので、皆様のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

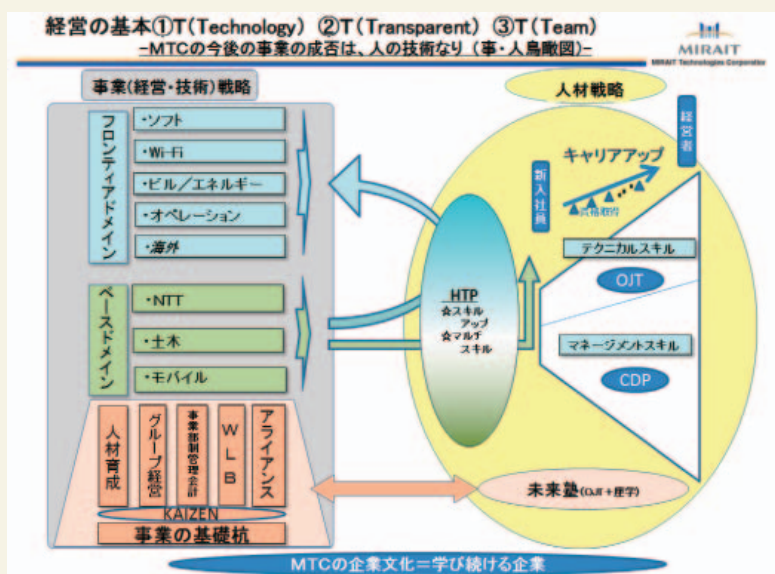


図 経営の基本と事業・人材戦略鳥瞰図